

第13回北九州市外郭団体評価会議 開催概要

- 1 開催日時：令和2年11月12日（木） 10時00分～12時00分
- 2 開催場所：Web開催
- 3 出席者：明石座長、今泉氏、加藤氏、新川氏、能美氏、福地氏及び外郭団体所管課
- 4 議題：「令和元年度ミッション遂行票（取組結果）について」
- 5 議事要旨

議題1 令和元年度ミッション遂行票（取組結果）について

(1) (公財) アジア成長研究所

<構成員コメント>

- ・自治体の外郭団体としてのシンクタンクの役割は難しい点もあるが、「公共政策」の提言、地域貢献に資する取組に今後とも力を入れていただきたい。

<団体等コメント>

- ・研究員の退所等により、成果として掲げる「論文掲載数」が落ち込んだと考えている。そのため、研究員を補充するように準備をしているところである。
- ・「知的基盤の強化」と「地域貢献」という2本の柱の下、より一層地域貢献に資する取組を行っていく必要があると考えている。

(2) (公財) 北九州観光コンベンション協会

<構成員コメント>

- ・北九州市の特徴を活かした新たなコンベンション誘致やイベントの開催を検討して欲しい。
- ・Web開催といったデジタル型イベントの実施・環境整備にも今後取り組んでいただきたい。
- ・東京、大阪といった大都市での会議、イベントの開催が難しいといったケースもある。地の利を活かした誘致活動にも取り組んでいただきたい。

<団体等コメント>

- ・従来の来場型と、オンライン参加型を組み合わせた「ハイブリッド型」の開催誘致を、現在検討している。こうした取組みと合わせて経費削減にも努め、来年度以降の収支改善に全力で取り組んでいく。

(3) 北九州高速鉄道㈱

<構成員コメント>

- ・コロナの影響で収支状況は厳しいと思うが、今後業績回復を目指にあたっては、市の支援はもちろん、コストをいかに抑えるかを意識しながら事業に取り組んでいただきたい。

<団体等コメント>

- ・コロナによる利用者の減少によって事業の状況はかなり厳しいが、財務体質の改善の取組や消毒や抗ウイルスのフィルムや、抗ウイルスのコーティングといった感染防止対策にも力を入れ、市民の生活交通、生活の足を守っていきたい。
- ・中期経営5カ年計画を今年の4月に策定し、今後の大規模設備更新に備えるなど、経営基盤の強化にも対応したい。

(4) 北九州エアターミナル㈱

<構成員コメント>

- ・24時間空港でもあるので、今回のコロナ感染拡大を機に貨物便により力をいれるべきだと考える。定期便の拡充にも努めていただきたい。
- ・GoToトラベルを商機ととらえ、テナントの営業時間延長も検討いただきたい。

<団体等コメント>

- ・コロナの影響によって航空需要が激減した結果、国際線の全路線運休、国内線の大幅な運休という状況。
- ・一方で、国際航空貨物は過去最高の取扱量を見込んでおり、北九州空港の貨物拠点化を推進するため、便数を増加するなどサービス拡充に取り組んでいる。
- ・空港内テナントの営業は以前厳しい状況にあるが、空港利用者の需要をくみ取り営業時間の延長が実現するよう努力したい。

(5) 北九州埠頭㈱

<構成員コメント>

- ・自主事業のひとつである荷役機械の保守点検については、収益拡大のため北九州港に限らず、他の港の事業にも積極的に展開し、そうした取組みも成果指標として盛り込むことを検討いただきたい。

<団体等コメント>

- ・市の政策の一翼を担い、外郭団体としての役割を果たしていくためには、より安定した経営体制を構築していくことが重要と認識している。
- ・そのため、令和3年度以降は「自主事業全体の営業収入」など、定量的な数値目標を新たな成果指標として定めることを検討したい。